

あいさつ運動の好事例

玉野市立胸上小学校

(児童数 119名 教職員数 17名)

みんなの顔をスマイルに あいさつリレー
～ 通学班がつないでいく あいさつ運動の取組 ～

アピールポイント

- ・以前から行われており、胸上小の伝統的な取組になっている。
- ・毎月、月初めの1週間「あいさつリレー」の形式で運動を展開している。
- ・ここ3年間は、毎日、6年生の有志が「あいさつボランティア」となってみんなに声をかけ、リーダーシップを発揮している。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

あいさつリレーの時は、大きな声であいさつできる児童が増えているが、それ以外の日は、あいさつの声が小さい児童も見られる。「あいさつボランティア」よりも先に進んで声を出すように呼びかけている。

■活動内容

毎月第1週、校門両サイドで通学班が登校してきた順にあいさつをリレー形式でつないでいく。1つの班が到着した側と迎える側とで2回ずつ行う。生徒指導部が毎年活動計画を立て、教員が輪番で指導している。最近は、「あいさつボランティア」の児童が運動を盛り上げている。

■取組の参加メンバー

全校児童・教員・あいさつボランティア（6年有志）

■成果・効果

笑顔あふれる学校、楽しい学校、豊かな心の育成の一環として、まず「あいさつ」から始めようと取り組んでいる。また、生活目標の1つとしての「あいさつを進んでしよう」をめざしている。地域の方からほめられることも増えてきました。「みんなの顔をスマイルに」をモットーに継続して取り組んでいきたい。